

# 過去最高！平成26年度末 常滑市の借金見込額 636億円 (一人当111万円)

あなたの収めた税金は、防災、福祉、医療、教育など様々な分野に配慮した予算編成

## — 防災減災対策・公共施設の老朽化対策に力 —

### 【主な事業】

・新市民病院の建設	73億1673万1千円
・こども医療費自己負担1割へ	2億5774万8千円
・樋門など改修事業費	1億2800万円
・西北・西中保育園の再編及び 民間こども園の開設	2億 490万9千円
・鬼崎漁港への海苔の共同加工場	3億2715万3千円
・民間の児童発達支援センター誘致	6289万3千円
・高度先端産業立地促進奨励金	4823万5千円

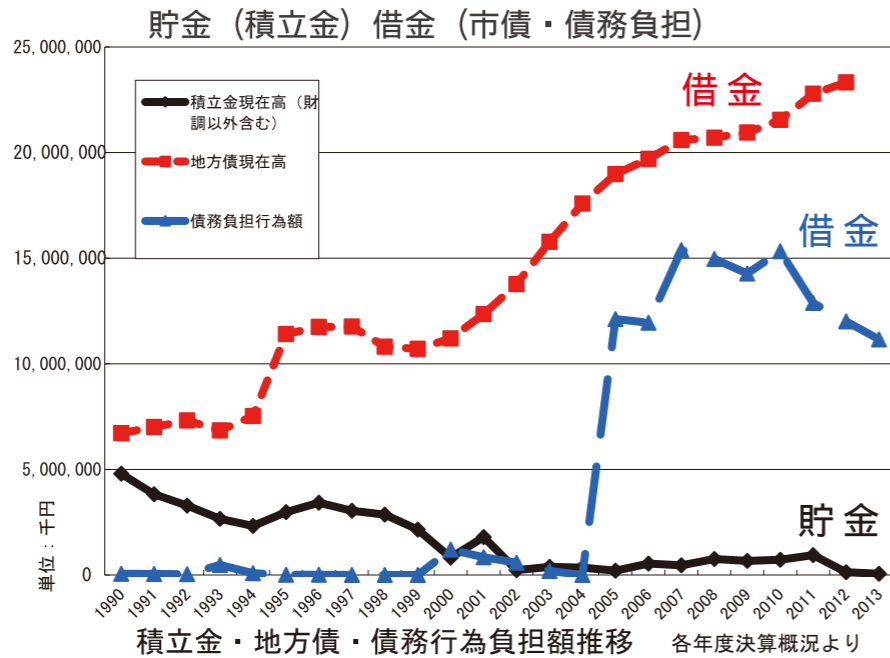
一般会計・教育や福祉、道路建設など行政運営全般の経費を計上したもの。  
 特別会計・国民健康保険や介護保険、下水道、農業集落排水、ポートなど特定の収入をもって事業を行う会計。  
 企業会計・より経営感覚を求められる事業であり、水道と病院

一般会計予算 199億円 特別会計予算 593億円 企業会計予算 189億円

### 借金を返すのは若い世代！

常滑市は競艇場から40億円前後の繰り上げ金が、2億円まで落ちこんだが、空港からの固定資産税により、見かけ上は富裕団体である。しかし右図を見れば、貯金はせず、財政力に見合った財政運営をしてこなかったことがわかるであろう。類似団体と比べても貯金は10分の1、借金は1.5倍にもなる。

2011年に作成した再生プランにより改善には向かっているが、平成27年も愛知県でワースト1は続く。右肩下がりの財政状況が続くため、出来るだけ借金を減らし、次世代の子どもたちの負担を軽くする努力が必要であろう。



平成23年度類似団体との比較 (1人当)

	常滑	類似団体
貯金	1万6923円	10万 31円
クレジット	41万1077円	39万4929円
ローン	26万2372円	4万6856円

### 【主な借金の内訳】平成24年度

連絡鉄道出資金	1億4500万円	名鉄高架化	5億4800万円	北条向山線	5億1700万円
認定子ども園	4600万円	多屋線道路改良	4億9300万円	新消防本部庁舎	6億6500万円
保育園耐震	1億4900万円	常滑地区ニュータウン	11億5100万円	鬼北小増築	8500万円
鬼崎漁港改修	3億1100万円	北条公園	3億300万円	小中学校耐震補強	6億100万円
小倉排水機場	9300万円	多屋区画整理	14億4200万円	温水プール	1億9600万円
瀧田家整備事業	6100万円	海岸線	6億8500万円	西北小移転新築	5億7500万円

### 反対しました

#### 1、条件が不明確な広域ごみ焼却場建設負担金は税金の無駄遣い

金銭面、環境面の明確な資料が整わないにもかかわらず、広域ごみ焼却場建設地を武豊町と決定し、知多南部広域環境組合負担金を予算化することに反対。(半田クリーンセンターから武豊に変更したための損失額40億円5年もの時間の損失を生んだ)

#### 2、議員のボーナス(期末手当)40%から35%緩和はまだ早すぎる

職員ボーナス削減が35%緩和するにあたり、議員も緩和するという。以下の理由で反対をする。

- 1) 職員と議員は制度も仕事内容も違い、合わせるという理由は成り立たない。(職員は年々給与カットされ、55歳を超えると普通の成績では報酬がストップする制度となる。)
- 2) 財政状況は現在最悪のため時期尚早である。
- 3) 議員報酬は市民に問うこと。

#### 3、新聞のみ消費税の軽減を求める意見書は不公平では

消費税導入にあたり、新聞への何らかの軽減策を実施するという。消費税軽減の一つに、人間として必要不可欠である食料品が良く取り上げられるが、今回新聞に対してだけだという意見書は、いかがなものであろう。

賛成○ 反対×

議員名 敬称略	一般会計 知多南部広域環境組合	議員のボーナス 40%削減を35%に	常滑市議会議員政治倫理条例	雇用安心安定を求める意見書	新聞の軽減税率に関する意見書
(所属)					
西本 真樹 (共産)	×	×	×	○	×
森下 宏 (緑風クラブ)	○	×	○	○	○
加藤代史子 (公明)	○	○	○	○	○
井上 恭子 (新風クラブ)	×	×	○	○	×
竹内 嘉彦 (新和会)	○	○	○	○	○
川原 和敏 (新和会)	○	○	○	○	○
伊藤 辰矢 (創造未来)	○	○	○	○	○
杉江 茂樹 (創造未来)	○	○	○	○	○
冨本 健 (創造未来)	○	○	○	○	○
成田 勝之 (創造未来)	○	○	○	○	○
伊奈 利信 (翔の会)	○	○	○	○	○
稲葉 民治 (翔の会)	○	○	○	○	○
相羽 助宣 (翔の会)	○	○	○	○	○
伊藤史郎 (翔の会)	○	○	○	○	○
加藤 久豊 (翔の会)	○	○	○	○	○
中井 保博 (翔の会)	○	○	○	○	○
村上 道明 (翔の会)	○	○	○	○	○
盛田 克己 (新和会)					議長

### 公開質問状と回答

広域ごみ焼却施設を住民目線で考えて

～ 組合議会からの不透明なる回答 ～

広域ごみ焼却施設場所が半田から武豊町に決定したため、先回の二の舞にならぬよう、2月14日知多南部広域環境組合に9項目の公開質問状を提出した。回答の一部を掲載する。

- 1、今回の建設予定地の武豊町の事前環境調査は現段階ではしていない。
- 2、経済面、環境面を加味した建設に関して今のところ詳細な見積もりは提出しない。
- 3、環境アセス後、汚染されていた場合、原因を調査し、適切に対応していく。原因者には相応の負担を求めることもある。

これらの回答は、「行政は住民目線で住民へ安価で安全なサービスを提供する」という責務には程遠いものである。半田のときと同じで事前調査もなく、責任の所在が明らかにされていない。ごみ焼却場建設計画は知多南部広域環境組合議会の密室で決めるのではなく、住民には常にデータを元とした情報を提供し、根拠を示したうえで決定をするよう要望をした。